公演企画書

公演概要

国や地域によって独特の音階があるように、言葉の調子や文章のリズムもやはり、その国・地域独特のものがあります。

日本文学と和楽器の相性の良さを、朗読と生演奏で楽しんで貰えます。近代文学は難しいと思われがちですが、役者による朗読は立体的でイメージしやすく、また三味線の音色が物語の情感をより鮮明に掻き立てます。

芥川龍之介の代表作の一つ「藪の中」と夢野久作の掌編は、それぞれに雰囲気は違えども、真実を語っているのは誰？その出来事は現実？それとも空想？と、語り手によって事実が変わり、聴く人のセンスで見えてくるものが変わってきます。正に真相は藪の中。

プログラム 上演時間 約80分

- ①開演口上・演目紹介……………5分
- ②夢野久作 作「黒い頭」……………10分
【朗読】徳田祐介・甲斐祐子 【三味線】染行エリカ
- ③芥川龍之介 作「藪の中」……………40分
【多襄丸】(役者)
【女】甲斐祐子 死霊:徳田祐介
【三味線】染行エリカ
- ④ギター民謡&三味線……………15分
- ⑤夢野久作 作「きのこ会議」……………10分
【地語り】甲斐祐子
【きのこ達】徳田祐介・他役者
【三味線】染行エリカ

出演者

- 【朗読】甲斐祐子(「本読みの時間」主宰) 徳田祐介(ワイワイワイ所属)
【演奏】染行エリカ(津軽三味線・ギター)
【役者】村山裕希・友井田亮・清水かおり

朗読と三味線で聴く
「藪の中」と夢野久作